



## 国際理解教育 今年度はインドネシアとの交流

校長 柿沼 隆一

12月になり、さすがに寒さが身に染みる季節となりました。道行く人もコートやマフラーというスタイルが多くなり、街のイルミネーションもクリスマスを感じるものが多くなりました。

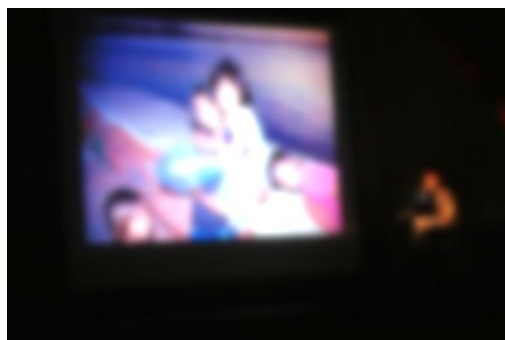
このところ感染者数が全国的に少なくなっているようですが、アフリカあたりから新型コロナウイルスの新たな変異株である「オミクロン株」が全世界に広がっているということが報じられています。この年末から新年にかけて全世界に広がっていくことが懸念されているようですが、1日も早く感染症に対する治療などが確立し、日常生活が阻害されないようになることを願っています。

本校では国際理解教育の一環として5年前からガーナとの交流を行ってきましたが、昨年度は世界的な感染症の流行により行うことができませんでした。今年度はインドネシアの中学生とSDGs（持続可能な開発目標）をテーマに交流を行っています。11月22日（月）にインターネットを介して、事前に学習したSDGsについて発表し合い、意見交換を行いました。相手（SMP Labschool Cibubur）の生徒は英語も堪能で優秀な子が多かったようですが、本宿中で参加した生徒も英語での生のコミュニケーションに何とか取り組んでいました。今後は、アートマイル国際協働学習プロジェクトの取組として、壁画の制作を行います。それぞれの学校で壁画の半分を担当し、SDGsの取組にちなんだ絵を描いていくことになると思います。壁画の完成は来年の3月を予定していますが、その折にはご紹介したいと思います。



▲インドネシアの中学生との交流

インドネシアとの交流は有志の生徒で行っていますが、全校生徒が国際理解を進める取り組みを11月30日（火）に行いました。海老名市で心療内科医をされている桑山紀彦氏をお招きし、学年ごとに分かれて体育館で「地球のステージ」を鑑賞しました。桑山紀彦氏が、これまで訪れたことのあるフィリピン、南スーダン、アフガニスタン、ミャンマーで出会った子どもたちにスポットを当て、ライブ音楽と迫力のある映像でそれぞれの国の子どもたちが貧困や戦乱の中でもたくましく生きる様子を私たちに紹介してくださいました。現在は新型コロナウイルスによる感染症の流行で海外へ行くことが困難な状況ですが、いずれは子どもたちがいろいろな国へ出かけて行って、それらの国の人々と手を携えて共に生きていくグローバルな感覚を身につけてほしいと思いました。



▲地球のステージ

3年生は12月3日～9日に面談を行い、進路先を相談します。ほとんどの生徒が年明けに入学試験を受けるため、この面談がとても重要なものになってきます。1, 2年生は12月16日～22日に面談を行い、2学期を振り返ります。どの生徒も来年がよい年になるように、しっかり課題を明確にし、その解決のため一緒に頑張っていきたいものです。

# 体育大会

例年9月に実施している体育大会ですが、今年度は感染症拡大による分散登校があったため延期をして、10月21日（木）に実施しました。当日は天候にも恵まれ、子どもたちが躍動する様子が見られました。各種目の結果は次の通りです。

## ○大縄跳び

全校優勝：3年1組 全校2位：1年3組・2年3組

## ○全員リレー

1年優勝：1組 2年優勝：2組 3年優勝：1組

## ○学年種目

1年（台風の日）優勝：3組

2年（お助け綱引き）優勝：1組

3年（4方向綱引き）優勝：1組

## ○学級対抗リレー

1年優勝：2組 2年優勝：1組 3年優勝：3組



## 体育大会を終えて

体育大会実行委員長 鈴木峻太

晴天に恵まれて体育大会が無事に終わることができて本当に嬉しく思っております。今年は昨年度に引き続き、感染症対策のため団体種目のみの短縮プログラムではありましたが開催することができました。保護者の方々や地域の方々にも子どもたちの頑張る姿、行事に全力で取り組む姿をみていただくことができ嬉しく思っております。感染症対策のため例年にはないスケジュールでの開催となりましたが、「バズれHonjuku#体育大会」のスローガンのもと、子どもたちは出しうる力を精一杯出し体育大会を盛り上げてくれました。競技というのは結果を意識し求めるものだと思います。ですが、全力で取り組んだからといって必ずしも結果が出るとは限りません。その中でいかに全力を尽くすか、その時間をどのように過ごすかが大切だと思っております。体育大会という一つの行事を通して様々な経験ができたと思っております。初めて実行委員長を務めさせていただき緊張や不安も多くありましたが晴天と同様に子どもたちの「晴れた顔（笑顔）」がたくさん見られたこと、保護者の方々や地域の方々に見ていただけたことに何よりの喜びを感じております。本当にありがとうございました。来年度も体育大会の応援をよろしくお願いいたします。



## 文化発表会

例年は2日間で開催している文化発表会ですが、今年度は1日の短縮バージョンで体育大会翌日の10月22日（金）に開催しました。午前中は合唱コンクール、午後は文化部を中心としたステージ発表が行われました。合唱コンクールの結果は次の通りです。

- 1年生の部 最優秀賞：3組『マイバラード』
- 2年生の部 最優秀賞：3組『はじまり』
- 3年生の部 最優秀賞：1組『証』

## 文化発表会を終えて

文化発表会実行委員長 関根彩夏

第31回文化発表会が幕を閉じました。今年度は、各ご家庭1名のみという制約の中ではありましたが、保護者の方に観覧していただくことができ、昨年度よりもさらに盛り上がった文化発表会となりました。

夏休み前に決定した、今年度のスローガン「本中卍リベンジャーズ」には、昨年度の文化発表会でできなかったことをリベンジしようという思いが込められています。今年はどんなことに挑戦できるのだろうと、生徒も教員も心を躍らせていました。そんな矢先、感染症拡大による緊急事態宣言が発令され、9月中は分散登校となってしまい、合唱コンクールやステージ発表の練習、実行委員の活動などの制限、さらに開催日数や内容も短縮となってしまいました。しかし、生徒たちは限られた中でできることを頑張ろうと、一生懸命に取り組んできました。

午前の部の合唱コンクールでは、どのクラスも練習の成果が発揮され、短期間の練習量とは思えないほどの、すばらしい歌声が体育館に響きました。賞を取ることができたクラスも、そうでなかったクラスも、自分たちの最高の合唱ができるようにと、日々練習を重ね、本番に臨んだことと思います。

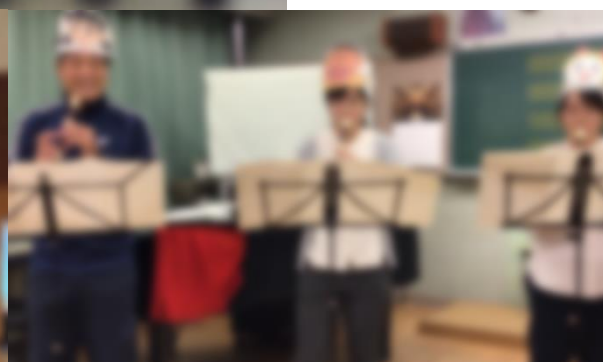
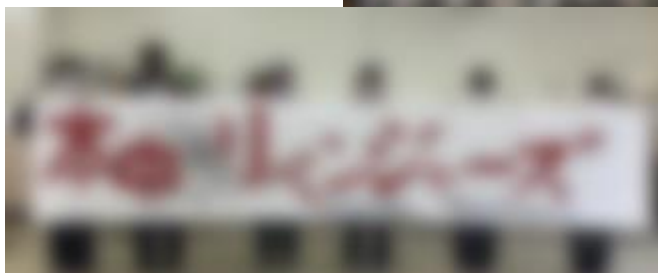
午後の部のステージ発表では、生徒会本部による寸劇、個別支援学級によるスライドショー、自然科学部による実験発表、3年生によるダンス、吹奏楽部による演奏がありました。どの団体も工夫を凝らし準備を進めてきました。とても楽しく、見ごたえのあるステージとなりました。

今回の文化発表会を通して、自分自身や学級に対する成長を感じることができたなら、その経験を今後の財産にしてほしいと思います。そして、来年度の開催形式がどのようになるかわかりませんが、少しでも制限が緩和され、さらにパワーアップした本宿中学校らしい文化発表会になることを願っています。

最後になりましたが、子どもたちの発表をあたたく見守ってくださった保護者の皆さま、PTAの皆さま、そして文化発表会に協力していただいたすべての皆さまに、心から感謝申し上げます。ありがとうございました。







## 【12月・1月のおもな予定】

- 12 / 3 (金) ~ 9 (木) 3年生 三者面談  
16 (木) ~ 22 (水) 1・2年生 三者面談  
24 (金) 2学期終業式
- 1 / 7 (金) 3学期始業式  
12 (水) 2年生 百人一首大会  
28 (金) 1年生 福祉体験  
3年生 学年末テスト



### ◎学校閉庁日のお知らせ

12月28日と1月4日・5日は学校閉庁日です。緊急で連絡が必要な場合は、西部学校教育事務所 指導主事室 045-336-3743 までお願いします。